

安全データシート

作成: 2001年12月11日

改訂: 2022年 2月16日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KH074-05
製品名 : テラガードL250グラム
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : 生産部 SQE推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3827-0825
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

物理化学性危険性	引火性液体	: 区分に該当しない
物理化学性危険性	自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
	自然発火性固体	: 区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
	急性毒性(吸入:ガス)	: 区分に該当しない
	急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分2
	皮膚感作性	: 区分に該当しない
	呼吸器感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 区分1A
	生殖毒性	: 区分2
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分2(消化管)
	誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	: 区分1
	水生環境有害性(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・強い眼刺激
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・長期または反復暴露による臓器(消化管)の障害のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
- ・発がんのおそれ

注意書き

【予防策】

- ・使用前に取扱い説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。

【対応】

- ・眼に入った場合、直ちに清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

化学名:N,N-ジメチル-3-メシチルスルホニル-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド

／一般名:カフェンストロール

メチル=α-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-o-トルアート

／一般名:ベンスルフロンメチル

3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-2-フェニルチオビシクロ[3.2.1]オクト-2-エン-4-オン

／一般名:ベンゾビシクロン

成分及び含有量:	カフェンストロール	8.4%
	ベンスルフロンメチル	2.0%
	ベンゾビシクロン	8.0%
<その他>	結晶質シリカ(石英)	0.5%
	鉱物質微粉、界面活性剤 等	81.1%

化学式: C₁₆H₂₂N₄O₃S / カフェンストロール
 C₁₆H₁₈N₄O₇S / ベンスルフロンメチル
 C₂₂H₁₉ClO₄S₂ / ベンゾビシクロン

官報公示整理番号: 安衛法 8-(3)-834 カフェンストロール
 化審法 (1)-548 結晶質シリカ(石英)

CAS No.: 125306-83-4 / カフェンストロール
 83055-99-6 / ベンスルフロンメチル

pH	(10倍希釈液)	: 9.0(参考値)
融点・凝固点		: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲		: データなし
引火点		: データなし
自然発火点		: データなし
燃焼性		: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃限界		: データなし
蒸気圧		: データなし
相対ガス密度		: データなし
密度及び／又は相対密度		: 0.35(参考値)
溶解度		: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log値)		: データなし
分解温度		: データなし
動粘性率		: データなし
粒子特性		: 粒径5.0mm

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット(♂ ♀) LD ₅₀	2,500 mg/kg 以上
急性毒性(経皮)	: ラット(♂ ♀) LD ₅₀	2,000 mg/kg 以上
急性毒性(吸入:ガス)	: 区分に該当しない	
急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類できない	
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ	皮膚刺激性なし
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: ウサギ	中等度の刺激性(洗眼効果あり)
呼吸感作性	: データなし	
皮膚感作性	: モルモット	感作性なし
生殖細胞変異原性	: データなし	
発がん性	: 結晶質シリカが区分1Aに分類されることから区分1Aとした。	
生殖毒性	: カフェンストールとして、生殖毒性あり	
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	: データなし	
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	: カフェンストールとして、消化管	
誤えん有害性	: データなし	

12. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC ₅₀	7.6 mg/l (96時間)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC ₅₀	21.7 mg/l (48時間)
藻類	: EC ₅₀	0.00361 mg/l (72時間)
残留性／分解性	: データなし	
生体蓄積性	: データなし	
土壌中の移動性	: データなし	
オゾン層への有害性	: データなし	
その他	: 水産動植物(魚類、藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してしようする。	

除草剤であり、植物に影響がある。

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質・容器等級3)

国連番号 : 3077(環境有害物質、個体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第21389号

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 第18条の2(通知対象物質):結晶質シリカ(石英)(政令番号165-2)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第一種指定物質 148号 カフェンストロール

毒物劇物取締法 : 非該当

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献:
- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
 - 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
 - 3) 農薬中毒の症状と治療法 第18版 2020年4月 農薬工業会
 - 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。